

2010年1月17日会合議事録

期 日：2010年1月17日 9:40～13:00

場 所：広尾 JICA 地球ひろば 202 室

参加者：19名

本日の内容の確認。

1. アイスブレイク (9:40～)

4～5つのグループに分かれ、それぞれのグループ内で、

- ・ 去年は自分にとってどんな一年だったか
- ・ 今年の自分に何を期待するか

について意見を共有。



2. メルマガプロジェクト (10:20～)

A～Eの4つのグループに分かれて話し合いの後に発表。

話し合うポイント

- ①今どのようなメルマガに登録しているのか (その何が面白いのか、面白くないか)
- ②外部に情報発信するにはどのようなツールが最適か
- ③GNH研として、どのような情報を発信できるか

話し合ったトピック毎に

①今どのようなメルマガに登録しているのか (その何が面白いのか、面白くないか)

- ・ Bニュース
- ・ 大前研一氏メルマガ
- ・ 就職活動関連メルマガ
- ・ 7つ星のメルマガ (なとりやという靴屋さん)
- ・ 滋賀県発行の「環境教育」に関するメルマガ
- ・ JANICメルマガ (国際協力系)
- ・ フランスの新聞のメルマガ

■面白い点

- ・ 内容が短く簡潔 (タイトルとリンクだけのメルマガ等もある)
- ・ コアな情報が手に入る
- ・ 時代の傾向が見られる
- ・ 海外からの視点によって書かれている

■面白くない点

- ・ひとつに登録すると不要なメルマガが山のように来る
- ・長い、文字数が多い、更新が頻繁すぎる

②外部に情報発信するにはどのようなツールが最適か

■web サイト

まずは、GNH研究会のウェブサイトをより充実させたらよいのではないか。

ウェブサイトでは、きっかけを与えることは出来るが、そこから内容を深めることまでは出来ないだろう。

不特定多数の人が見てくれることがメリットでもあり、デメリットでもある。



■メールマガジン

ある程度興味のある人が読者になる。

送り手中心のメルマガは読まない。

長いと一方で、読んでもらえない場合もある。

■メーリングリスト

事務関連の情報共有に利用。

どちらかというとも会員内部向け。

■SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サイト）、ブログ

双方向にコメントをやり取りできるメリットがある。

コミュニティも形成できる。

■広報誌、フリーペーパー

お金がかかる媒体。

掲示板等に張っておくとネットを使わなくても興味のある人が見てくれる。

■書籍

本当に知りたい情報は本から得る。  
情報が濃くて多いことがメリット。

■イベントの開催

やはり **face to face** が一番伝わる。  
フィールドトリップ等の体験を共有する場を作ってはどうか。

③GNH研として、どのような情報を発信できるか

- ・ イベント情報
- ・ 幸福とは何か
- ・ GNHの定義
- ・ ウェブサイトにあるコラムのような内容
- ・ クエンセルのGNHに関するニュース
- ・ 興味のある人が活動に参加しやすい内容のもの
- ・ 顔が見えるような内容

◎その他の意見・質問

- メルマガを出すメリットもあるが、その継続が大変なのではないか
- 既存のもの（ウェブサイト等）をより活用する方法も考えてはどうか
- クエンセルの配信には許可が必要なのではないか
- GNH研のメーリングリストに対して興味のある講演会やイベント情報を載せてもいいのか。（その場で了承確認済み）
- 今後メーリングリストのルール作りも考える必要があるとの疑念あり。

メルマガに関する話合いは、これらの意見をもとに今後事務局内でも検討したうえで、その結果のフィードバックを行う。

3. 休憩（12：10～）

#### 4. ワーク「守」「破」「離」の紹介（12：15～）

配布資料：「極限の世界に生きる民に学ぶ」「雑談力」

※雑談力は平山の著書「美しい国 ブータン」第五章より。

平山のファシリテーションのもと、ワークを行った。

ワークは守・破・離の紹介である。守、破、離それぞれの意味は、

守： 受け継がれてきた作法を守る

破： 自分なりにアレンジを加える

離： さらによいものをつくり一人前になる/独立する

である。

これらを平山が紹介し、2人のペアで

①自分なりの言葉で覚えている範囲で相手に守・破・離の説明をする

②自らの過去を振り返って、守・破・離の経験を紹介する

というワークを行った。

#### 5. 平山より報告（12：30～）

翻訳プロジェクトに関して

これまで計画されていた“**Within a Realm of Happiness**”という本の翻訳及び出版は諸事情により出来なくなった。その代わりに、**Kunzang Choden** 氏著“**DAWA**”というティンプーの野良犬から見たブータン社会についての本の翻訳に取り組むことになった。今後、事務局で段取りを話し合い、後日改めてメーリングリストにて連絡を行う。

以上